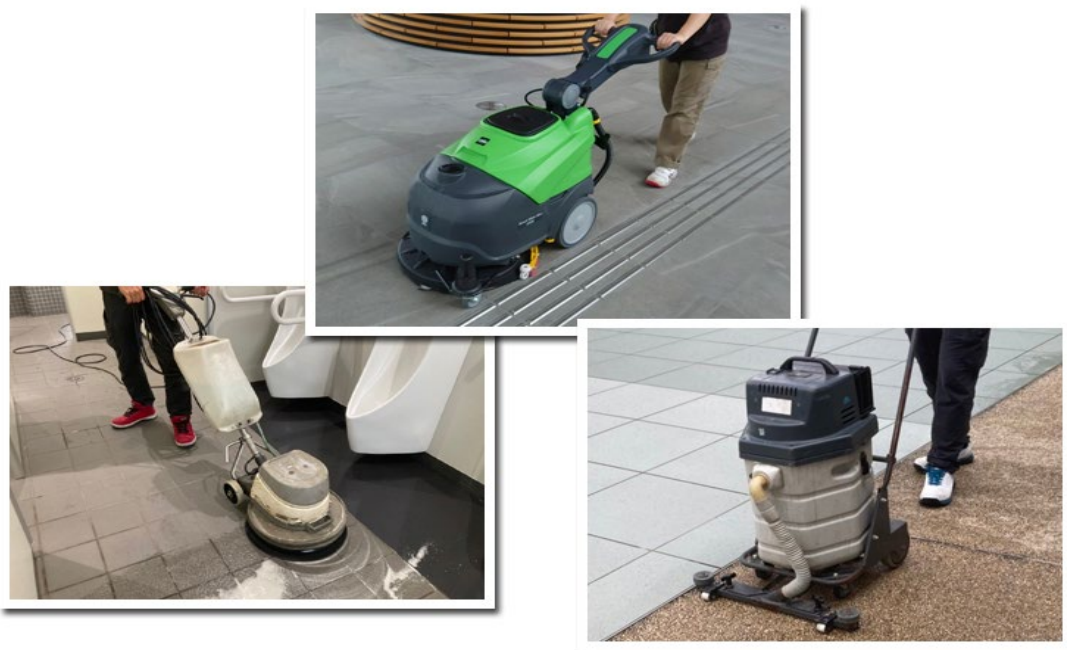


エコアクション21 環境経営レポート

令和5年度版

対象期間: 令和5年9月1日～令和6年8月31日



発行日: 令和6年10月1日

株式会社 北国クリーンサービス

1 環境経営方針

株式会社北国クリーンサービスは建築物の清掃・管理業務において、地球環境に与える環境負荷を低減するための方策を以下の通り定め、会社員で継続的な環境保全に取り組むことを誓約します。

- (1) 当社の事業活動を通じてお客様及び地域住民と共同・協調を図り、ともに地球環境保護の改善に継続的に取り組みます。
- (2) 環境に関連する法規の順守評価をします。
- (3) 事業活動において省エネルギー、省資源の観点から、二酸化炭素排出量の削減、一般廃棄物排出量の削減、水使用量の削減に取り組みます。
- (4) 排出される廃棄物は、金沢市が推し進める分別を徹底するとともに、リサイクル可能なものについては、リサイクルを徹底します。
- (5) 事務用品等のグリーン購入を推進します。
- (6) 環境負荷低減に関する意思統一のため、社員に対し環境教育を行います。
- (7) この環境方針は、全社員に周知徹底するとともに、社外にも開示します。

制定日：2013.10. 1
改定日：2018.9. 1

株式会社北国クリーンサービス
代表取締役 藤井 万博

【北国クリーンサービスの環境経営方針、環境経営計画とSDGsへの取組み】

北国クリーンサービスは地球環境に与える環境負荷を低減するための方策を定め、全社員で継続的な環境保全に取り組めます。

★は重点項目、●は関連項目

SDGsの目標とターゲット			3 	6 	7 	11 	12 	13 	15 	17 
			3. 9	6. 4	7. 3	11. 6	12. 2 12. 5	13. 2 13. 3	15. 1	17. 17
			る病壊有減し水水利 のの害らての利用 件汚化学す水の持効 数染物に不足可率 をによ質に能を改 大幅る及び採善し に死亡大のをを 削減及気の数確 さび・土を保淡		倍エ 増ネ させル ぎー 効率 の改 善率 を	悪に大 影響意の質及 をし、都市廃 軽減減棄物の 環境上管理の	の3を天 発R達然 生を成資 を推する 進により、 廃棄物	能気び気 力候計候 を変画変 改善動に する策織 対策り 対む及 する対 人策を 的す略 及	能ス陸 なの生 利用保 を全生 を回系 確保復 する及 その 持サ 続ビ	奨社効 励会果 ・の的 推パな 進ート 公的 ト、 ナ官 ー民 シ、 ッ市 プ民 を
1	二酸化炭素排出量の削減	車両の適正運転(エコドライブの徹底)			●	●		★		
		空調温度・冷蔵庫の設定温度の適正管理、消灯の徹底			●			★		
2	廃棄物排出量の削減	分別回収の徹底				●	★			
		紙の効率的利用、電子データ化の推進					★		●	
		紙のリサイクル推進					★		●	
3	水使用量の削減	洗濯作業での節水、事務所での節水		★						
4	グリーン購入の推進	リサイクル商品、グリーンマーク商品の使用					★		●	
5	化学物質の管理を進める	洗浄液の管理徹底、現場別の進捗管理表の活用	★	●						
		清掃責任者教育の実施	★							●
6	教育訓練の充実	EA21意義の浸透、進捗報告、改善報告						★		●
7	法規制の遵守と地域社会との連携	法規制の遵守と地域社会との連携						●		★

2 事業所概要

(1) 事業者名及び代表者

株式会社北国クリーンサービス

代表取締役 藤井 万博

(2) 所在地

本社 〒920-0376 金沢市福増町北814番地

(3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 取締役 藤井 大雄

連絡担当者 取締役 藤井 大雄

連絡先 〒920-0376 金沢市福増町北814番地

電話 076-240-0046

ファックス 076-240-0140

e-mail hcs@movei.ocn.ne.jp

(4) 設立年月日 1997年3月

(5) 資本金 1, 000万円

(6) 社員数 112人

(7) 延べ床面積 322. 2m²

(8) 事業年度 9月1日～8月31日

(9) 事業内容 建築物清掃業務、建築物飲料水貯水槽清掃業務、害虫駆除

(9) 対象範囲

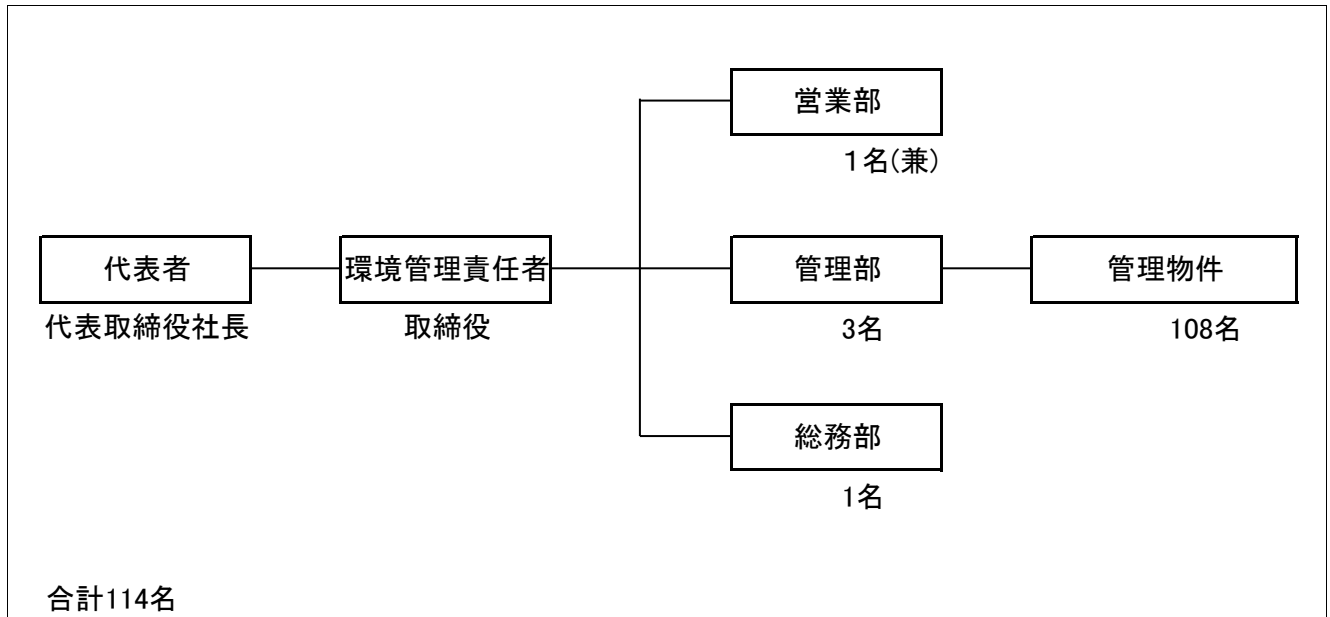
1. 認証・登録範囲 建築物清掃業務、建築物飲料水貯水槽清掃業務、害虫駆除

2. 環境活動レポートの 令和5年9月1日～令和6年8月31日(会計年度)

対象期間及び発行日 令和6年10月1日発行

エコアクション21 推進体制表

令和6年10月1日現在



【責任者の役割】

代表者	環境経営方針の制定
	環境管理責任者の任命と実施体制の承認
	取り組みに必要な資源の提供
	エコアクション21システムの見直し
	環境経営レポートの承認
環境管理責任者	エコアクション21活動責任者
	環境経営レポートの作成、公開
	環境経営目標、環境経営計画の作成と進捗管理
	環境関連法規の順守評価
	進捗管理のデータ収集、整理

3. 環境経営目標とその実績

(過去3年間の実績)

目標	単位	令和3年度	令和4年度	令和5年度
①二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	18,716	32,946	36,515
②廃棄物排出量の削減	kg	213	217	216
③紙のリサイクル向上	%	100	100	100
④水使用量の削減	m ³	503	522	580
⑤ワックス掛けの管理強化		PRTR対象物質量の管理	PRTR対象物質量の管理	PRTR対象物質量の管理

※集計は会計年度の9月1日から翌年8月31日までとしました。

①二酸化炭素排出量は、電気が24.9%、車両等で使用するガソリン・軽油が75.2%であります。

令和5年度と令和6年度の差3569kg-CO₂増加となった。

②廃棄物は、主に一般廃棄物であり年間1トンにもなりません。廃棄物に関しては分別を徹底し、町内会のゴミ置場に出しています。

③リサイクル率は、上質紙、ダンボール、新聞紙、雑誌等を分別し、リサイクルしています。

④水は市水であり、トイレ、洗濯、洗車で使用するものです。

※購入電力の二酸化炭素排出係数は北陸電力の0.481kg-CO₂/kwhを使用しました。

(今後3年間の環境経営目標)

目標	単位	令和7年度	令和8年度	令和9年度
①二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	36,150	35,788	35,430
②廃棄物排出量の削減	kg	214	212	210
③紙のリサイクル向上	%	100	100	100
④水使用量の削減	m ³	574	568	562
⑤ワックス掛けの管理強化		工程管理表による教育訓練	工程管理表による教育訓練	工程管理表による教育訓練

①令和6年度の二酸化炭素排出量は、前年実績比1%削減とします。

以降は前年比1%削減とします。

②令和6年度の廃棄物排出量は、前年実績比1%削減とします。

以降は前年比1%削減とします。

③紙のリサイクル率は100%とします。

④令和6年度の水の使用量は、前年実績比1%削減とします。

以降は前年比1%削減とします。

⑤現場で使用する洗浄液について、PRTR法に該当しないことを確認し、年間使用量、廃水処理方法等を記載した管理表を作成し、管理強化をしていきます。

4. 環境経営計画とその実施状況及び令和6年度の取組み

目標	具体的取組み内容	評価	担当部署
二酸化炭素排出量の削減	車両の適正運転(空ぶかし、アイドリング、急発進、急加速)	○	管理部 全員
	空調機の室内温度管理(設定温度夏季28℃、冬季20℃)	○	
	冷蔵庫の設定温度(夏季は中、それ以外は弱)	○	
	照明の管理(昼休憩時の事務室の消灯、未使用室の消灯)	○	
	事務用機器の起動・停止管理(未使用時の電源切り)	○	
	使用しない電気器具のコンセント切り	△	
廃棄物排出量の削減	分別回収の徹底(金沢市の指導分別種別に従って分別)	○	総務部
	コピー用紙の効率利用(ミスコピー紙の裏面利用、両面コピー)	○	
	電子データ化推進(紙管理からデータ管理へ)	△	
水使用量の削減	節水の徹底(洗濯時の濯ぎ回数減・洗濯物のまとめ洗い)	○	管理部
	節水の徹底(トイレ手洗い、湯沸室の元栓水量調節)	○	全員
グリーン購入の推進	リサイクル商品・グリーンマーク商品の使用	○	総務部
教育訓練	EA21導入の意義浸透	○	
	会議で進捗報告及び改善報告の実施	△	
ワックス掛けの管理強化	洗浄作業で使用する洗浄液の管理表の作成	○	管理部
	管理表に基づく現場別進捗管理表の作成	△	
	管理表及び現場別進捗管理表に基づく責任者教育の実施	△	

評価 ×:ほとんど取り組まず。 △:あまり取組まなかった ○:取り組んだ。

5. 令和5年度の環境経営目標／実績と評価

目標	単位	令和5年度		実績／目標	評価
		目標	実績		
①二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	32,616	36,515	1.00	△
②廃棄物排出量の削減	kg	214	216	1.00	△
③リサイクル率の向上	%	100	100	1.00	○
④水使用量の削減	m ³	516	580	1.00	△

評価 ×:目標が達成できなかった △:目標が少し達成できなかった ○:目標が達成できた

①二酸化炭素排出量は目標が達成できなかった。

- ・電気使用量は前年度実績対比約110%となった。
 - ・ガソリンが129%、軽油が91.3%の使用量に留まった。
- 今後も継続して取り組むこととする。

②廃棄物は事務所からでるごみ程度であり、ほぼ毎月20kg程度です。

また今後は更なる分別の徹底を図っていきます。

③紙のリサイクル率は、100%リサイクルしています。

④水は、目標が達成できなかった。

今後は洗濯時の濯ぎ回数等の節水を徹底していきます。

6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

(1)環境関連法規

主な適用法規名	遵守事項(ポイント)	確認日	評価
①廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃掃法)	1 廃棄物の適正処理(金沢市に依頼) 2 廃棄物再生利用(分別して金沢市に依頼)	令和6年7月31日	○
②建築物にかかる衛生的環境の確保に関する法律 (ビル管理法)	建築物環境衛生管理の尊重 居室温度 冬期20℃ 夏期28℃ 室内清掃 週2回実施	令和6年7月31日	○
③グリーン購入法	物品購入等に際し、できる限り環境に配慮した製品の選択をする。 (コピー紙100%、ティッシュペーパー100%、文具類の一部)	令和6年7月31日	○
④容器包装リサイクル法	容器包装廃棄物は、リサイクル促進等により廃棄物の減量化及び資源の有効利用を図る。	令和6年7月31日	○
⑤化審法(PRTR制度、SDS制度)	剥離剤(第1種20号 141-43-5 アミノエタノール)	令和6年7月31日	○
⑥毒激法(塩酸、苛性ソーダ)	保管、施錠、表示	令和6年7月31日	○
⑦労働安全衛生法	化学物質管理者選任、リスクアセスメント実施、保護具着用管理責任者選任	令和6年7月31日	○

評価 ×:ほとんど取り組まず。 △:あまり取組まなかった ○:取り組んだ。

①廃棄物の処理及び清掃に関する法律、②建築物にかかる衛生的環境の確保に関する法律、
④容器包装リサイクル法については遵守できたが、③グリーン購入法については概ね購入できたが一部はできなかった。
今後はできる限りすべての物品購入に配慮したい。

(2)違反・訴訟等の有無

今期、環境関連法規への違反・訴訟等はありません。また、関連当局からの違反・訴訟等に関する指摘は、過去3年間ありません。

7. 代表者による全体の評価と見直し・指示

- ・協力会社も含め、トイレの汚れに応じて中性、酸性を使い分け、適正な使用量での周知徹底ができました。今後も継続してください。
- ・購入者を限定してグリーン商品を優先してグリーン購入の割合を上げる事ができました。
- ・洗剤の最適希釈倍率厳守と化学物質ゼロのアルカリイオン水の適用拡大により洗剤使用量の削減を図れたので、今後とも継続してください。
- ・令和4年度は全目標達成を実現できるよう社員全員で引き続きエコアクション21活動に取り組んでください。

令和6年10月1日
代表取締役 藤井 万博